



下諏訪町地域包括支援センター講演会

高齢者の運転について考える

「高齢者の運転は危険？」「運転免許の返納は急ぐべき？」

「車がないと不便だけど、いつまで運転を続けられるか・・・。」「事故のニュースも多いし、事故を起こしてからでは遅いので、運転をやめて欲しいのに・・・」と不安を感じている方は多いです。

車の運転には、ハンドルやブレーキ操作等の運動能力、とっさの判断力、他の車や歩行者などの存在を把握する認知力、交通ルールや道順などの記憶力、視力、聴力などさまざまな能力を使います。これらは、認知症でなくても、高齢になるほど低下し、若い頃と同じようには運転できなくなります。そのため、高齢運転者は交通事故を起こしやすく、そこに認知症が加わると、危険度はさらに高まります。

この機会に、高齢者の運転について、地域の皆さんと一緒に考えてみませんか？

日時 平成 30 年 6 月 11 日（月）

入場無料

手話通訳あり

午後 2 時 00 分～4 時 00 分

（開場 1 時 30 分）

場所 下諏訪総合文化センター小ホール

～ プログラム ～

2 時～ 「高齢者の事故の実際と運転免許証返納について」

諏訪警察署交通課

2 時 30 分～ 「運転のリスクと、安全に運転し続けるために必要なこと」

「運転に必要な機能のエクササイズ」

（着席のまま行えます）

NPO 法人高齢者安全運転支援研究会

電動アシスト付自転車展示試乗会

協力：サイクリストマツザワ

文化センター西側入り口にて

（PM12：30～2：00）

紹介

コーナー

どなたでも聴講していただけます。お問い合わせの上お出掛けください。